



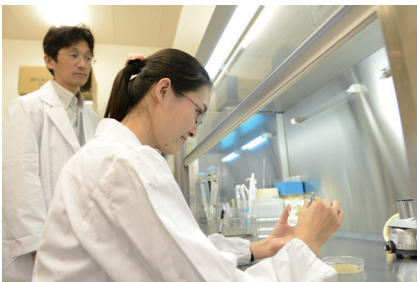
名古屋市立大学 大学院理学研究科 2027年春、 理学は大きく進化する。



新キャンパスイメージ図

名市大理学研究科の特徴

名古屋市立大学大学院理学研究科は、理学情報専攻の1専攻のみで小規模でありながら、生命科学、物質科学、数理情報科学といった多様な専門分野を網羅する教員陣で構成されています。自然科学領域を横断的に融合し、多様な人々が集い、分野を越えた議論と新たな発想が生まれる共創的な研究環境を備えています。



キャンパス移転

名古屋市立大学大学院理学研究科の教育・研究活動は、2027年度に田辺通キャンパスへ移転します。新築される研究棟には、最先端の研究設備に加え、研究者同士の交流や議論を促す空間を整備。理学研究の深化と飛躍を支える、快適で創造的な研究環境が、ここに誕生します。



外部向け大学院説明会

本説明会では、大学院の概要や研究分野の紹介に加え、奨学金・経済的支援制度、修了後の進路について説明します。また、外部大学から進学した在学生によるスピーチを通じて、進学の間緯や大学院生活の実際についてもお話しします。2027年度（R9年度）より、大学院生の受入体制は拡充される予定です。ぜひお気軽にご参加ください。

▶2026年4月2日（木）
13:00-15:00
（個別ラゴ訪問は15時以降）

▶名古屋市立大学
滝子（山の畑）キャンパス
4号館3階 大講義室
※対面のみ、事前申込制



問いを選ぶ。尖っている理学。

私たちは“流行っているテーマをやる理学研究科”ではありません。

研究者一人ひとりが、自分の問いを選び、
その問いで勝負している、“尖っている理学”です。

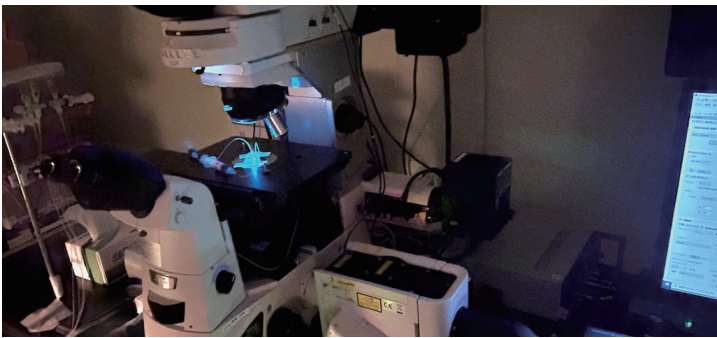
名市大大学院理学研究科では、理学情報専攻の中に数学、物理、化学、生物、天文、情報といった多様な分野が含まれ、先端的な研究が行われています。



ピックアップ最先端研究

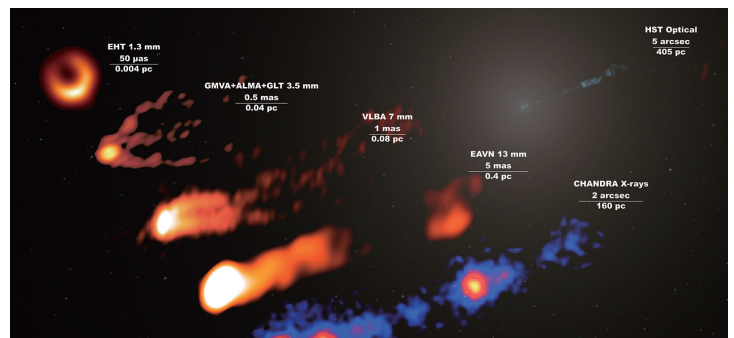
木村教授（神経科学）

小さな線虫を研究対象として、神経科学・光生理学・データ科学などを統合した研究で「脳の動作原理」の解明を目指しています。代表論文: Nat Meth 2019, eLife 2021, Cell Rep Meth 2025.



秦准教授（天文学）

世界中の研究者と協力した国際連携を通して、銀河の中心の超巨大ブラックホールなどを研究しています。代表論文: Nature 2023, A&A 2024, Astron Astrophys Rev 2024.



注目のプレスリリース

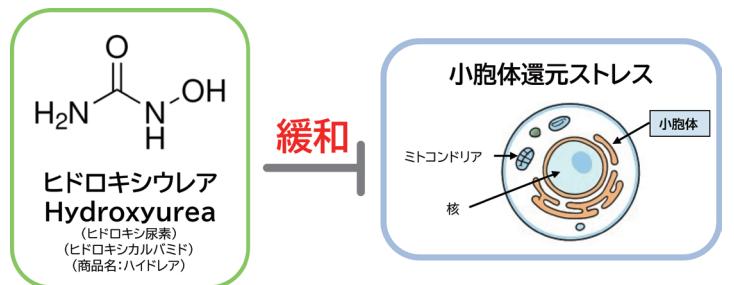
青柳教授（構造物性物理学）

「ナノケージに捕獲したイオンの回転と振動を精密計測～C₆₀フラーレンに閉じ込めたりチウムイオンの運動状態を解明!～」をぜひご覧ください。



中務教授（細胞生物学）

「抗がん剤ヒドロキシウレアの新たな役割—小胞体の還元ストレスを緩和する作用を発見—」をぜひご覧ください。



大学院生支援プログラム

次世代研究者
挑戦的プログラム
(SPRING)



大学院支援組織
GRADcenter



入試情報



滝子(山の畑)
キャンパス



アクセス

田辺通
キャンパス

